au W21S USBドライバ インストールガイド

ここでは、「au W21S USBドライバ」(以下「USBドライバ」と略記します)をパソコンにインストールする方法について記載しています。USBケーブルWINをW21Sでご使用いただくためには、あらかじめパソコンに「au W21S USBドライバ」をインストールしていただく必要があります。

目次

USB ドライバの動作環境について

対応 OS	Windows2000/XP（いずれも日本語版、PC/AT 互換機用） ・上記の OS が工場出荷時にインストールされていることが必要です。 ・上記 OS 内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。 ・Windows98/98SE/Me ではご使用いただけません。 ・対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。
通信ポート	USB ポート
携帯電話	W21S ・W21S 以外の携帯電話にはご使用いただけません。
ケーブル	USB ケーブル WIN ・au ショップなどでお買い求めください。

ご利用上の注意

- USB ケーブル WIN を一度インストールを行った USB ポートと違う USB ポートへ接続すると、新たに機器を認識するため、COM ポート番号が変更されます。常に同じ USB ポートでご使用ください。
- 機器を PC へ接続した際に、COM ポート（COM3 など）が割り当てられます。非接続状態では、本デバイスに割り当てられる COM ポートは存在しません。
- COM ポート番号は、使用する PC の環境により異なります。
- 携帯電話と通信中に機器を取り外さないでください。通信中のデータが失われることがあります。
- CPU の処理能力が不足している場合、通信速度が低下することがあります。
- 他の USB 機器と同時にご利用の場合、通信速度が低下することがあります。

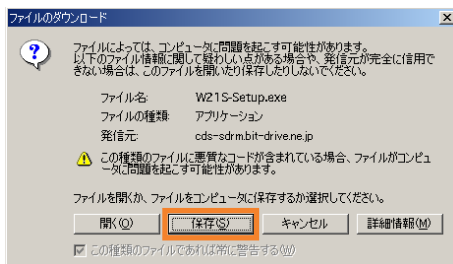
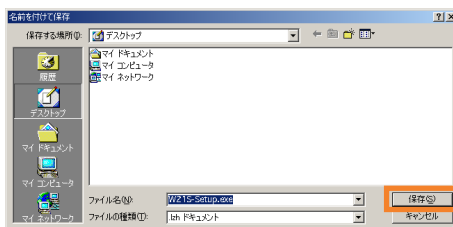
用語の説明

USB ドライバ	パソコンに接続される周辺機器を、パソコンが認識や制御をするために必要なソフトウェアです。 「au W21S USBドライバ」がパソコンにインストールされていないとパソコンが W21S を正常に認識できません。
インストール	パソコンで使えるように「USB ドライバ」を導入する作業や操作を指します。
アンインストール	「USB ドライバ」が正常にインストールできない場合や、パソコンから W21S が正常に認識できていない場合に、「USB ドライバ」を一度削除する作業や操作を指します。

USB ドライバをダウンロードする

Web サイトから「au W21S USB ドライバ」をダウンロードしてください。

1 「使用許諾契約」をお読みいただき、「同意してダウンロード」をクリックする

2 「ファイルのダウンロード」画面で「保存」をクリックする

3 「名前を付けて保存」画面で覚えやすい場所（デスクトップなど）を指定して、「保存」をクリックする

USB ドライバをインストールする

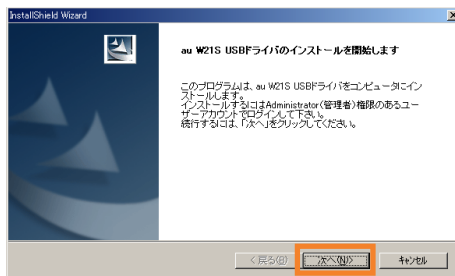
インストールを開始する前に以下の項目をご確認ください。

- Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
- Windows で起動中のアプリケーションを終了してください。

！ インストール完了まで W21S をパソコンに接続しないでください。

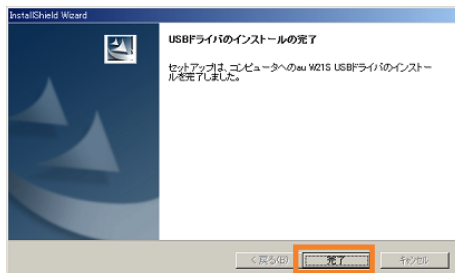
1 ダウンロードした「W21S-Setup.exe」（自動解凍形式）をダブルクリックする

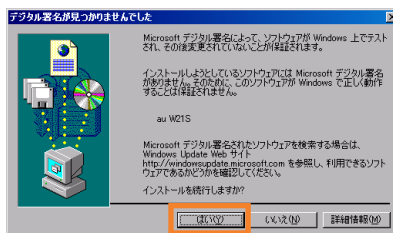
この時点では、W21S をパソコンに接続しないでください。
準備中画面が表示されます。しばらくお待ちください。

2 内容を確認してから、「次へ」をクリックする

3 パソコンにW21Sを接続していないことを確認してから、「OK」をクリックする

インストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

注：この後、「インストールを続行しますか」と確認する画面が表示されることがあります。その場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

4 「完了」をクリックする

WindowsXPの場合は、以下の「初回接続時の作業」と「USBコントローラを更新する」の作業を行ってください。
Windows2000の場合、USBケーブルの初回接続時に、以下の「インストールを続行しますか？」と確認する画面が表示されることがありますが、その場合は「はい」をクリックしてください。

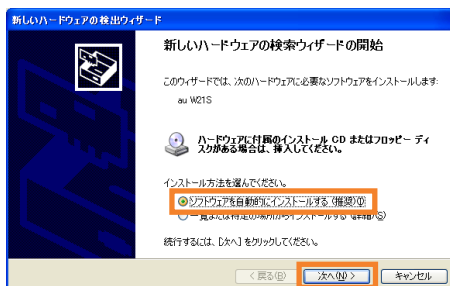
注：右記の画面はWindowsのシステム側で表示されるメッセージです。
Microsoft 社はパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。本USBドライバは弊社で動作確認を行っておりますので、問題なくご使用いただけます。

初回接続時の作業（WindowsXPの場合のみ）

WindowsXPの場合、初回接続時にW21Sをパソコンに認識させる以下の作業が必要になります。

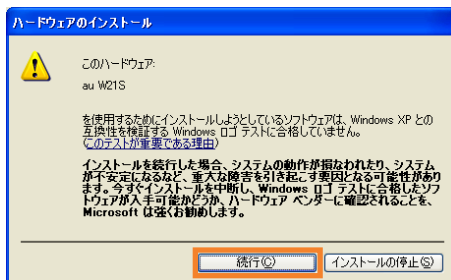
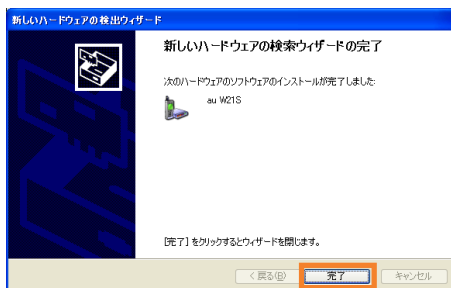
1 **パソコンにUSBケーブルWINを接続する**

2 **W21Sの電源を入れ、待受画面を表示してから、USBケーブルWINに接続する**

USBケーブルWINはW21Sの外部接続端子に接続してください
（接続のしかたについては、W21S付属の取扱説明書をご参照ください）。

3 **「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、「次へ」をクリックする**

注：USBケーブルWINを一度インストールを行ったUSBポートと違うUSBポートへ接続すると、新たに機器を認識するため、「新しいハードウェアの検出ウィザード画面」が表示される場合があります。常に同じUSBポートでご使用ください。

4 「続行」をクリックする

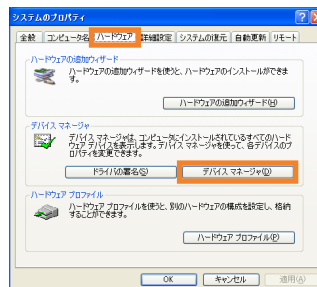
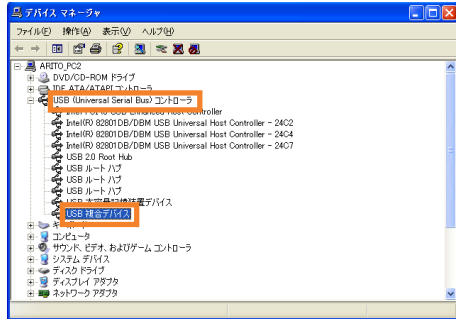
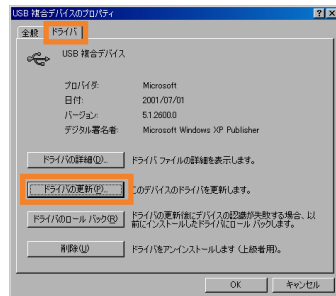
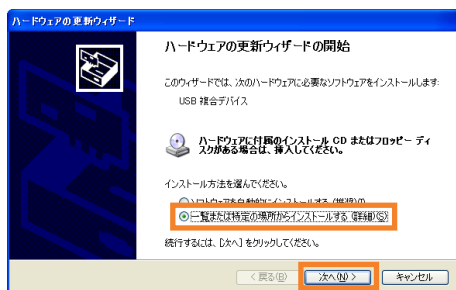
注：右記の画面はWindowsのシステム側で表示されるメッセージです。Microsoft社はパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。本USBドライバは弊社で動作確認を行っておりますので、問題なくご使用いただけます。

5 「完了」をクリックする

6 このあと、再び手順３～５の操作を行う

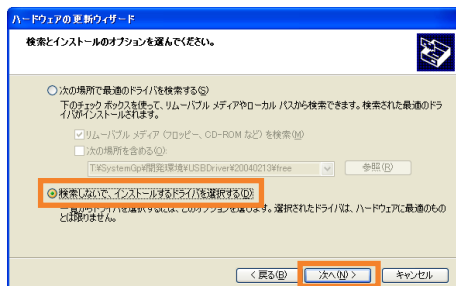
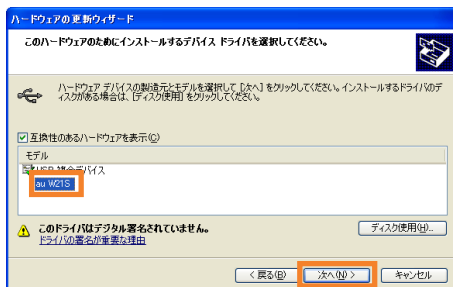
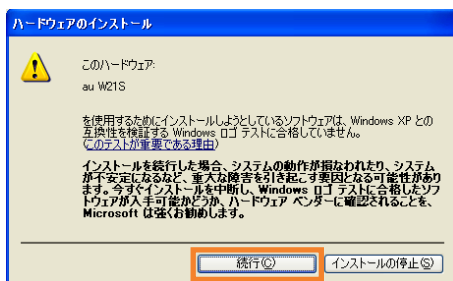
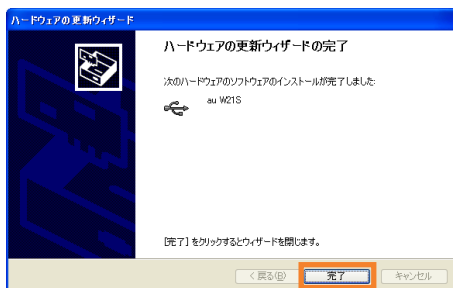
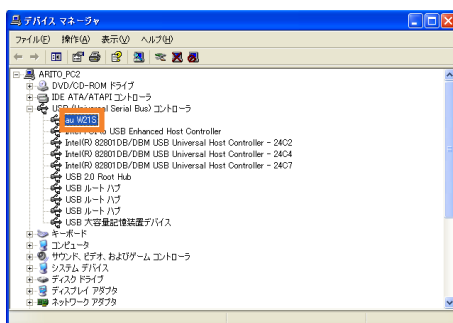
以上で、USBケーブルをパソコンに認識させる作業が完了します。続いて、「USBコントローラを更新する」作業を行ってください。

USBコントローラを更新する（WindowsXPの場合のみ）

1 Windowsの「スタート」から「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、「システム」をクリックする

2 「ハードウェア」タブにある「デバイスマネージャ」をクリックする

次ページへ

3「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」をクリックし、「USB 複合デバイス」を表示する

4「USB 複合デバイス」をダブルクリックし、「ドライバ」タブにある「ドライバの更新」をクリックする

5「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックする

6「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、「次へ」をクリックする

次ページへ

7 「au W21S」を選択し、「次へ」をクリックする

8 「続行」をクリックする

9 「完了」をクリックする

10 USB（Universal Serial Bus）コントローラの表示が「au W21S」になっていることを確認する

接続を確認する

パソコンが「USB ドライバ」を正常に認識しているか、以下の手順で確認できます。

1 パソコンに USB ケーブル WIN を接続する

2 W21Sの電源を入れ、待受画面を表示してから、USBケーブルWINに接続する

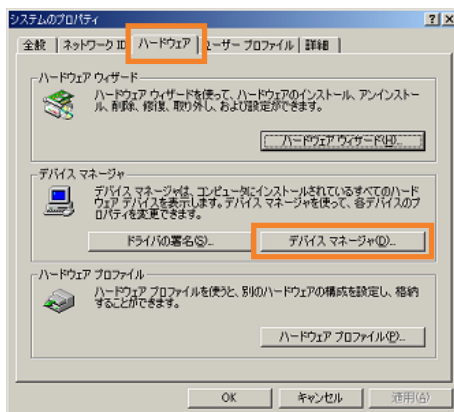
USB ケーブル WIN は W21S の外部接続端子に接続してください（接続のしかたについては、W21S 付属の取扱説明書をご参照ください）。

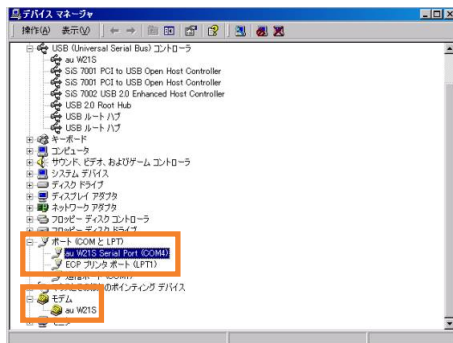
3 Windows2000 の場合

Windows の「スタート」から「設定」→「コントロールパネル」を開き、「システム」をクリックする

WindowsXP の場合

Windows の「スタート」から「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」を開き、「システム」をクリックする

4 「ハードウェア」タブにある「デバイスマネージャ」をクリックする

5 **ポート（COMとLPT）」をダブルクリックして「au W21S Serial Port (COM＊)」が、表示されていることを確認する**
→「モデム」をダブルクリックして「au W21S」が、表示されていることを確認する

上記の様に表示されていれば正常に接続されています
（＊はパソコンの環境によって異なります）。

- デバイスマネージャに表示されていない場合や「？」マークや「！」が表示されている場合には、USB ドライバを再インストールしてください。
- デバイスマネージャの「表示」設定が「デバイス（種類別）」以外に設定している場合は、上記のようには表示されません。
- ポートやモデムのCOMの番号はパソコンの環境によって異なります。モデムのCOMの番号はデバイスマネージャの「モデム」の「au W21S」を右クリックして「プロパティ」を選択し、「モデム」のタブをクリックすると見ることができます。

インストール／アンインストール中のご注意

「USB ドライバ」をインストールまたはアンインストール中に、「1628: スクリプトベースのインストールを完了できませんでした。」というメッセージが表示される場合があります。その場合は、以下のことをご確認ください。

原　因	対　処
「W21S-Setup.exe」（自動解凍形式）を2回以上ダブルクリックした場合	メッセージ画面の「OK」を押して、再度インストールまたはアンインストールを行ってください。
Temp フォルダに残っているファイルが邪魔をする場合	メッセージ画面の「OK」を押してください。Temp フォルダ（C:\Documents and Settings\“現在のユーザー名”\Local Settings\Temp）のファイルをすべて消去または他のフォルダに移動してください。その後に、再度インストールまたはアンインストールを行ってください。

USB ドライバをアンインストールする

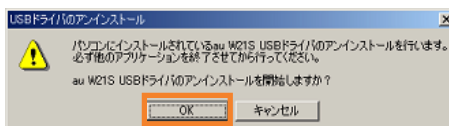
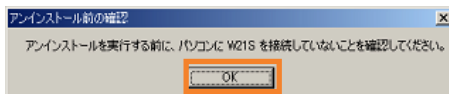
アンインストールを開始する前に以下の項目をご確認ください。

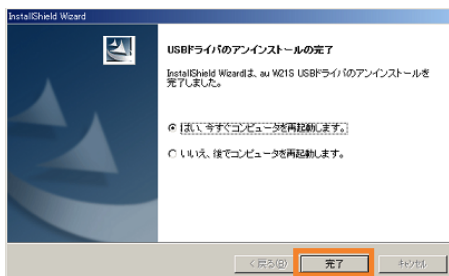
- Administrator（管理者）権限のあるユーザーアカウントでログインしてください。
- Windows で起動中のアプリケーションを終了してください。

! インストール完了まで W21S をパソコンに接続しないでください。

1 「W21S-Setup.exe」（自動解凍形式）をダブルクリックする

この時点では、W21S をパソコンに接続しないでください。
準備中画面が表示されます。しばらくお待ちください。

2 内容を確認してから、「OK」をクリックする

3 パソコンに W21S を接続していないことを確認してから、「OK」をクリックする

アンインストール処理中の画面が表示されます。しばらくお待ちください。

4 「完了」をクリックする

5 パソコンを再起動する

USB ドライバを再インストールする

「USB ドライバ」が正常にインストールできない場合や、パソコンから W21S が正常に認識できていない場合には、上記の手順で一度「USB ドライバ」をアンインストールしてから再度インストールを行なってください。

モデムコマンド一覧

（1）Sレジスタ

Sレジスタの設定方法
"AT"に続いて"Sn＝X"を入力する。
（n:レジスタ番号、X:設定値）
（例）ATS0=2

Sレジスタ参照方法
"AT"に続いて"Sn?"を入力する。設定値が表示される。（n:レジスタ番号）
（例）ATS0?

レジスタ	機能	単位	初期値	設定範囲
S0	自動着信するまでのリング回数	回	0	0～255
S3	CRキャラクタコードの設定		13	13のみ
S4	LFキャラクタコードの設定		10	10のみ
S5	BSキャラクタコードの設定		8	8のみ
S6	ダイヤル開始までの待ち時間の設定	秒	2	2～10
S7	キャリア検出許容時間※	秒	50	1～50
S8	ダイヤルコマンドのポーズ（","）時間	秒	2	0～255
S9	キャリア確定許容時間	0.1秒	6	0～255
S10	キャリア損失許容時間	0.1秒	14	1～255

※ 発信に際して相手の端末設備からの応答を自動的に確認する場合にあっては、電気通信回線からの応答が確認できない場合、選択信号送出終了後2分以内にチャネルを切断する信号を送出し、送信を停止するものであること。このため、W21Sでは上記電気通信事業法の規定に基づき、キャリア検出許容時間（S7レジスタの設定値）を最大50秒としています。

（2）リザルトコード

数字	文字	説明
0	OK	コマンドを正常完了
1	CONNECT	相手モデムと接続
2	RING	着信中
3	NO CARRIER	キャリアが検出できない
4	ERROR	コマンドエラー
7	BUSY	ビジートーンを検出
29	DELAYED※	発呼規制中

※ 自動再発信（応答のない相手に対して引き続いて繰り返し自動的に行う発信を言う。）を行う場合にあっては、その回数は3回以内であること。ただし、最初の発信から3分を超えた場合には別の発信と見なす。このため、W21Sでは上記電気通信事業法の規定に基づき、3回を超える再発信は発信を行わずにDELAYEDのリザルトコードを返します。

（3）ATコマンド一覧

ATコマンドの入力方法
ATコマンドは、"AT"続いて"コマンド"と"パラメータ"を入力する。
（例）ATE1
（コマンドエコーを有りに設定する）
＊は初期値

コマンド	機能	説明
A/	コマンドの再実行	直前のATコマンドを再度実行する
ATA	着信応答	アンサートーンを発信し回線を接続する
ATD	ダイヤル	オフフックし電話番号をダイヤルする
ATEn	エコー処理	コマンドエコー有無の設定 n=0 コマンドエコーしない ＊n=1 コマンドエコーする
ATH	オフフック制御	回線をオフフックする
ATO	オンライン状態へ移行	モデムをオンラインモードへ戻す
ATP	パルスダイヤル選択	パルスダイヤルを選択
ATQn	リザルトコードの制御	＊n=0 リザルトコードを返す n=1 リザルトコードを返さない
ATT	トーンダイヤル選択	トーンダイヤルを選択する
ATVn	リザルトコードの選択	n=0 数字形式 ＊n=1 文字形式
ATXn	リザルトコード範囲の選択	n=1 NO DIALTONEとBUSYは返さない n=2 BUSYは返さない n=3 NO DIALTONEは返さない ＊n=4 全て返す
ATZ	ソフトウェアリセット	工場出荷状態に初期化する
AT&Cn	CF（DCD）信号の制御	n=0 常時ON ＊n=1 相手モデムのキャリアを検出したときON
AT&Dn	CD（DTR）信号の制御	n=0 CD信号を無視して、常時ONとみなす n=1 CD信号OFFによりオンラインコマンド状態へ移行 ＊n=2 CD信号ONによりコマンド状態へ移行
AT&F	工場出荷時設定への初期化	各種コマンドのパラメータ値やSレジスタの内容を工場出荷時に戻す
+++	オンラインコマンド状態へ移行	モデムをオンライン状態からオンラインコマンド状態へ移行する